

こんな時代だからこそ続けるべき、 積立投資のススメ

積立投資の本質、一緒に考えてみましょう！

2022年12月8日
大和証券株式会社
ライフプランビジネス部

最近、積立投資をはじめた人の心配ごと

- ▶ 引き続き、新型コロナウイルス感染も心配ではありますが…



コロナ禍での運用状況

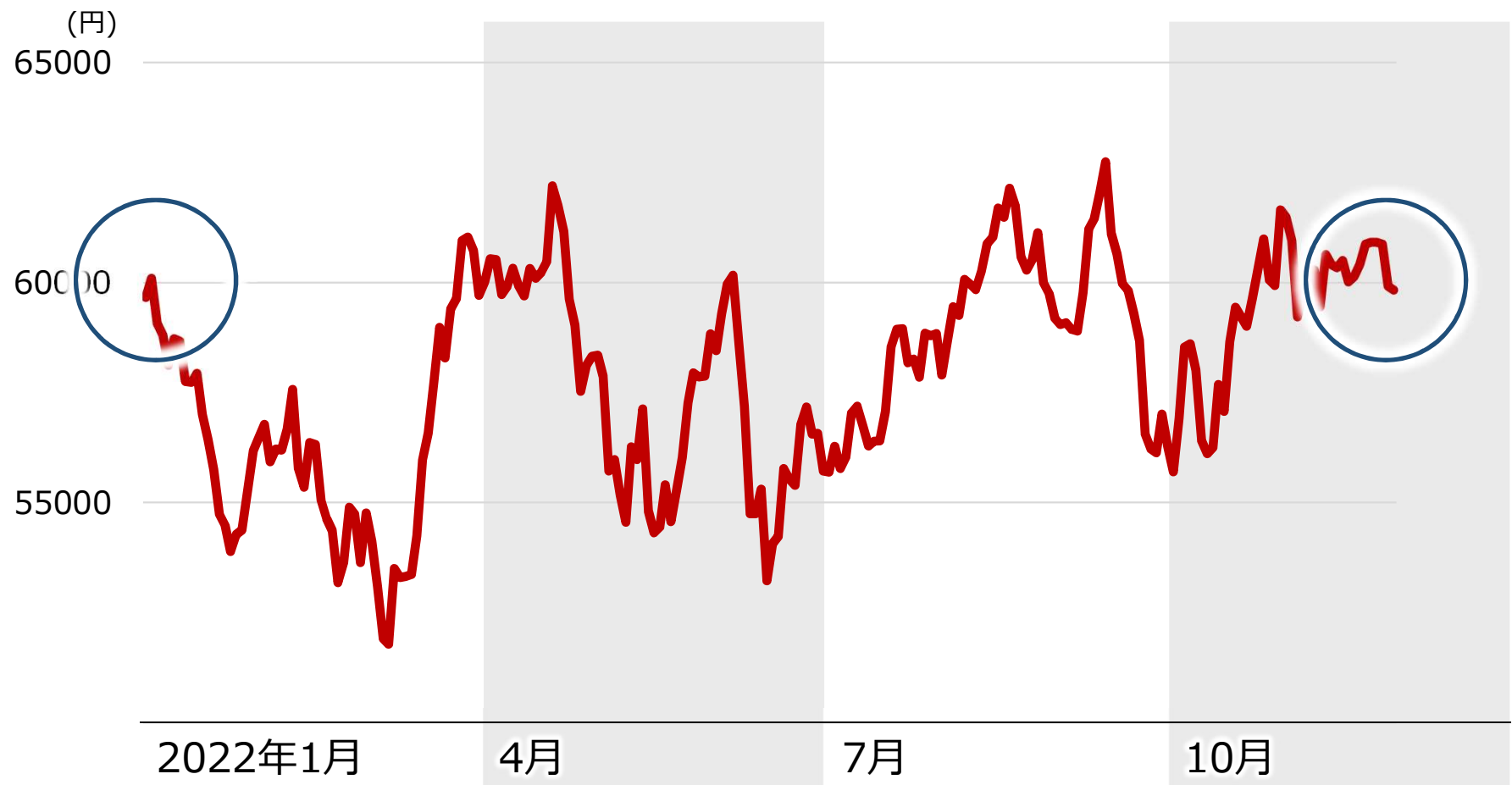
▶ ある先進国株式インデックスファンドの基準価額推移



※2022年は11月末時点

2022年の運用状況／一括投資の値動き

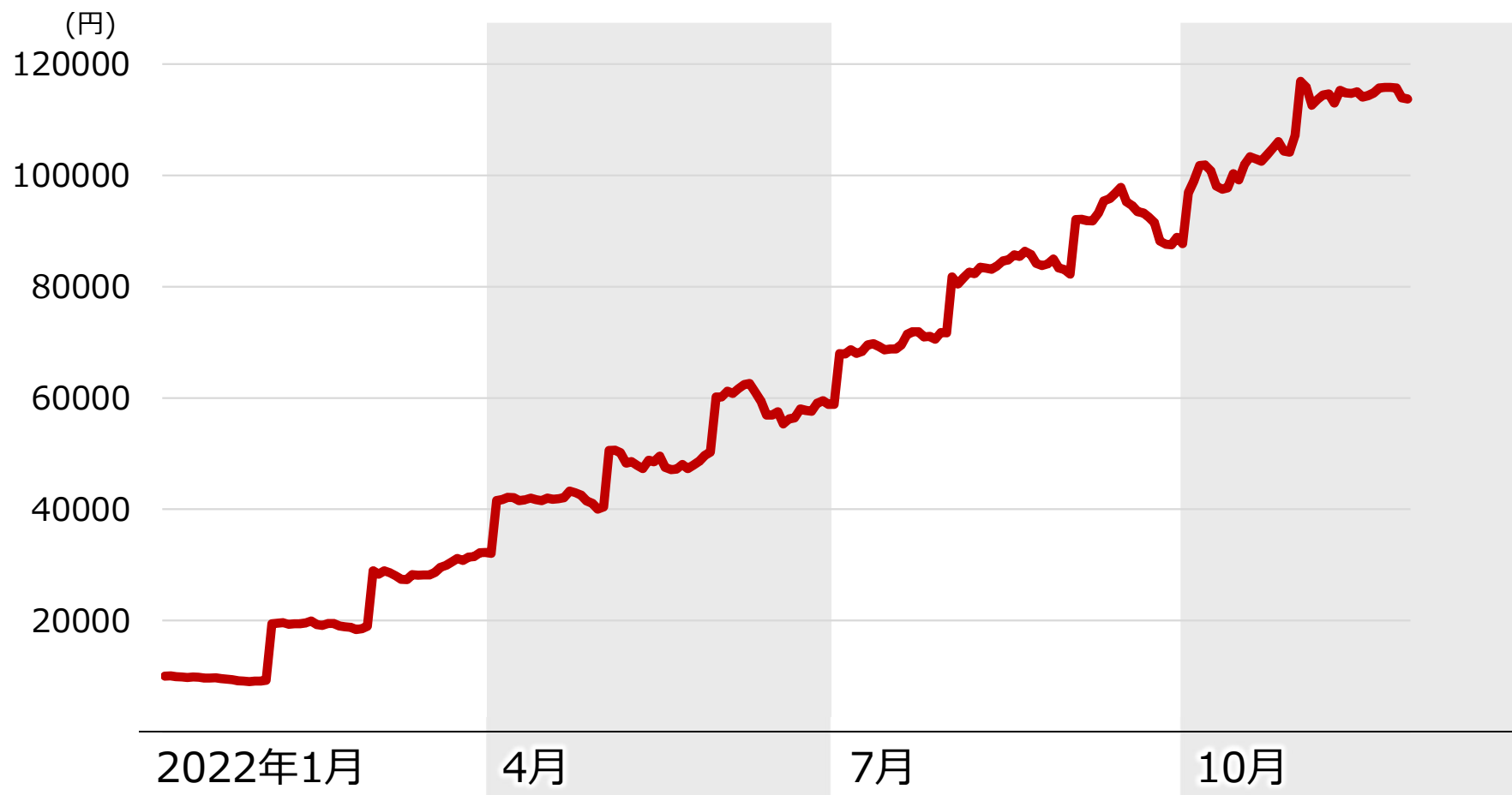
▶ 年初に一括投資をしていたら…



※2022年11月末時点

2022年の運用状況／積立投資の値動き

▶ 毎月月初に1万円、積立投資を続けていたら…



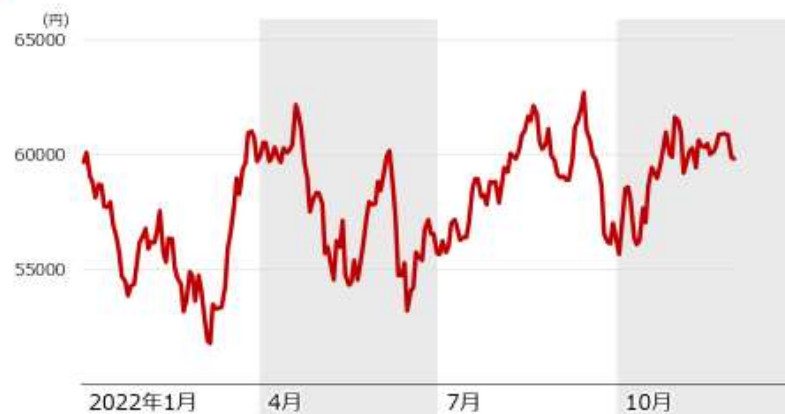
※2022年11月末時点

積立投資、不安なときの処方箋①

▶ 一括投資と積立投資は値動きが違う（特に開始当初）

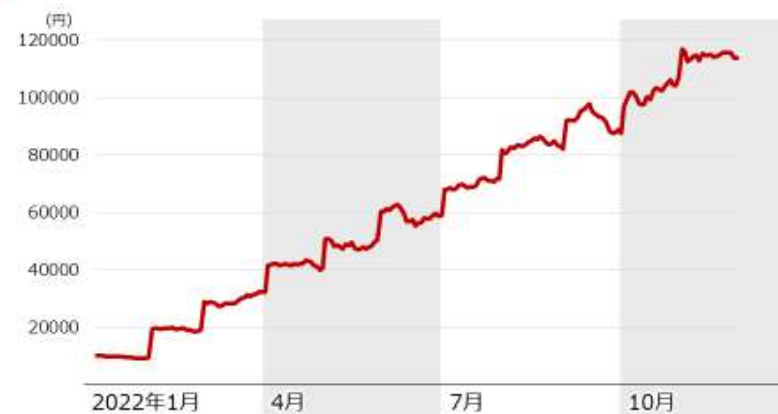
2022年の運用状況／一括投資の値動き

▶ 年初に一括投資をしていたら…



2022年の運用状況／積立投資の値動き

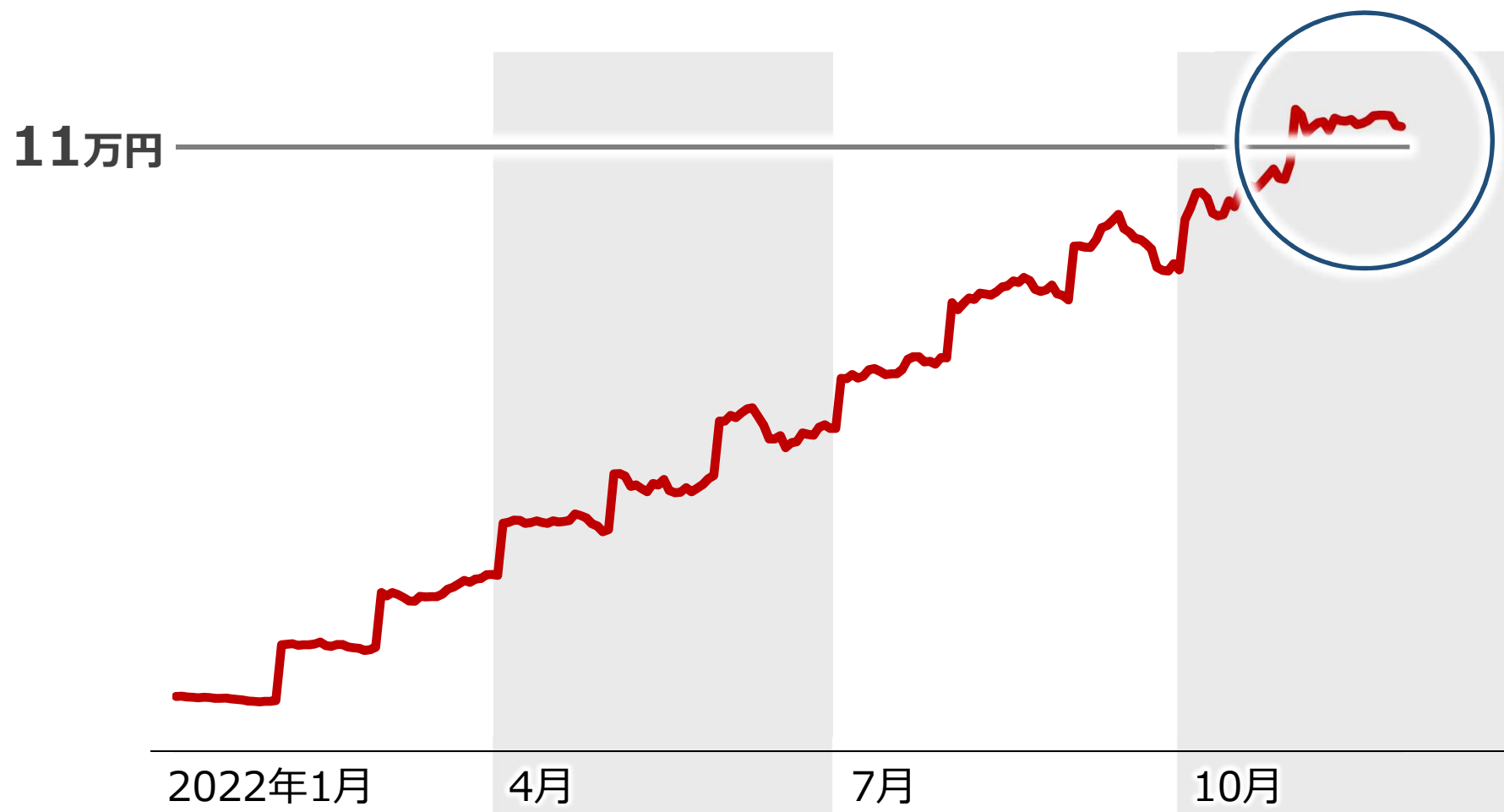
▶ 毎月月初に1万円、積立投資を続けていたら…



リスクをコントロールしつつ、着実に資産形成が進んでいる！

2022年の運用状況／積立投資の成果

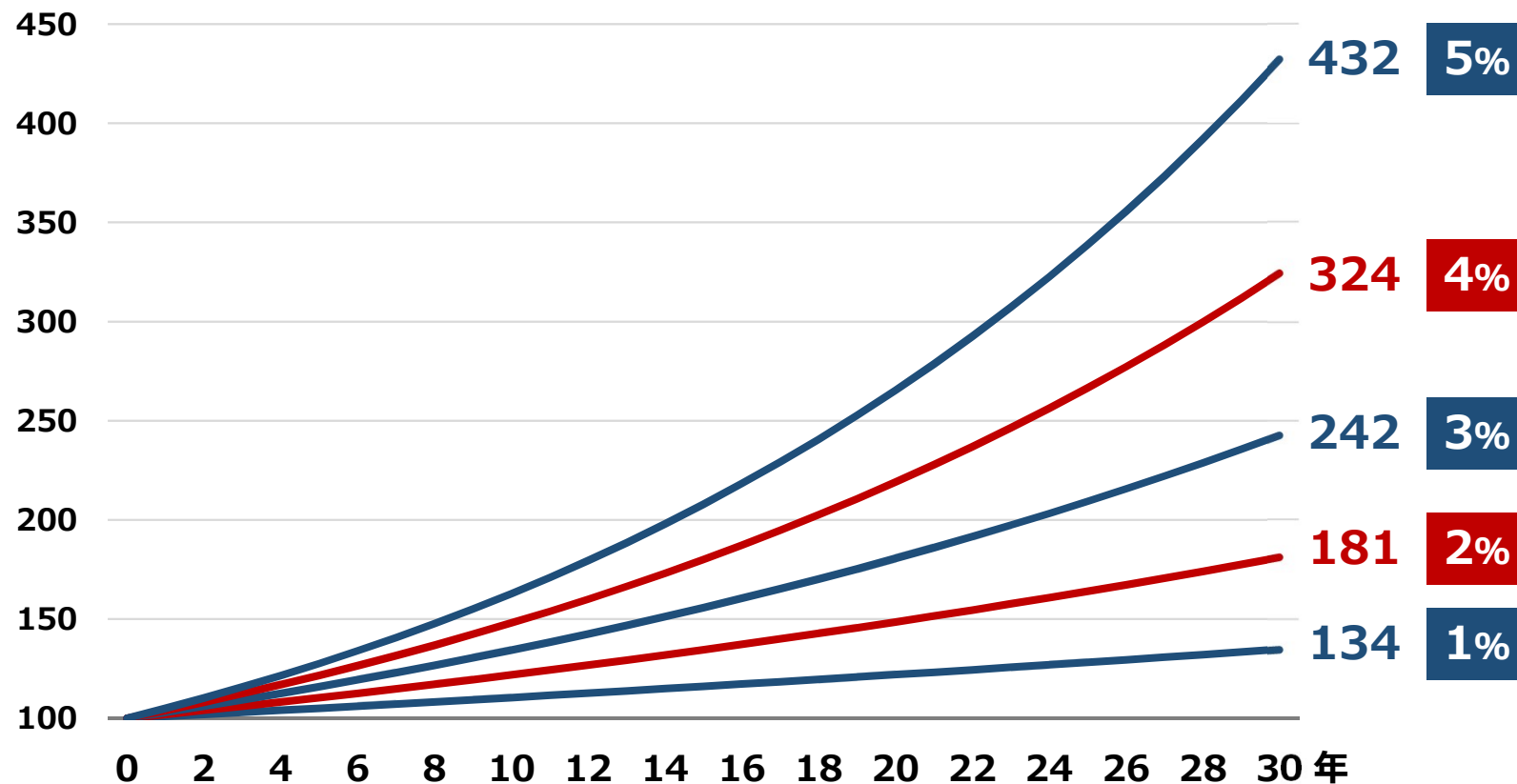
▶ 毎月月初に1万円、11月末で累計11万円だから…



※2022年11月末時点

積立投資、不安／不満なときの処方箋②

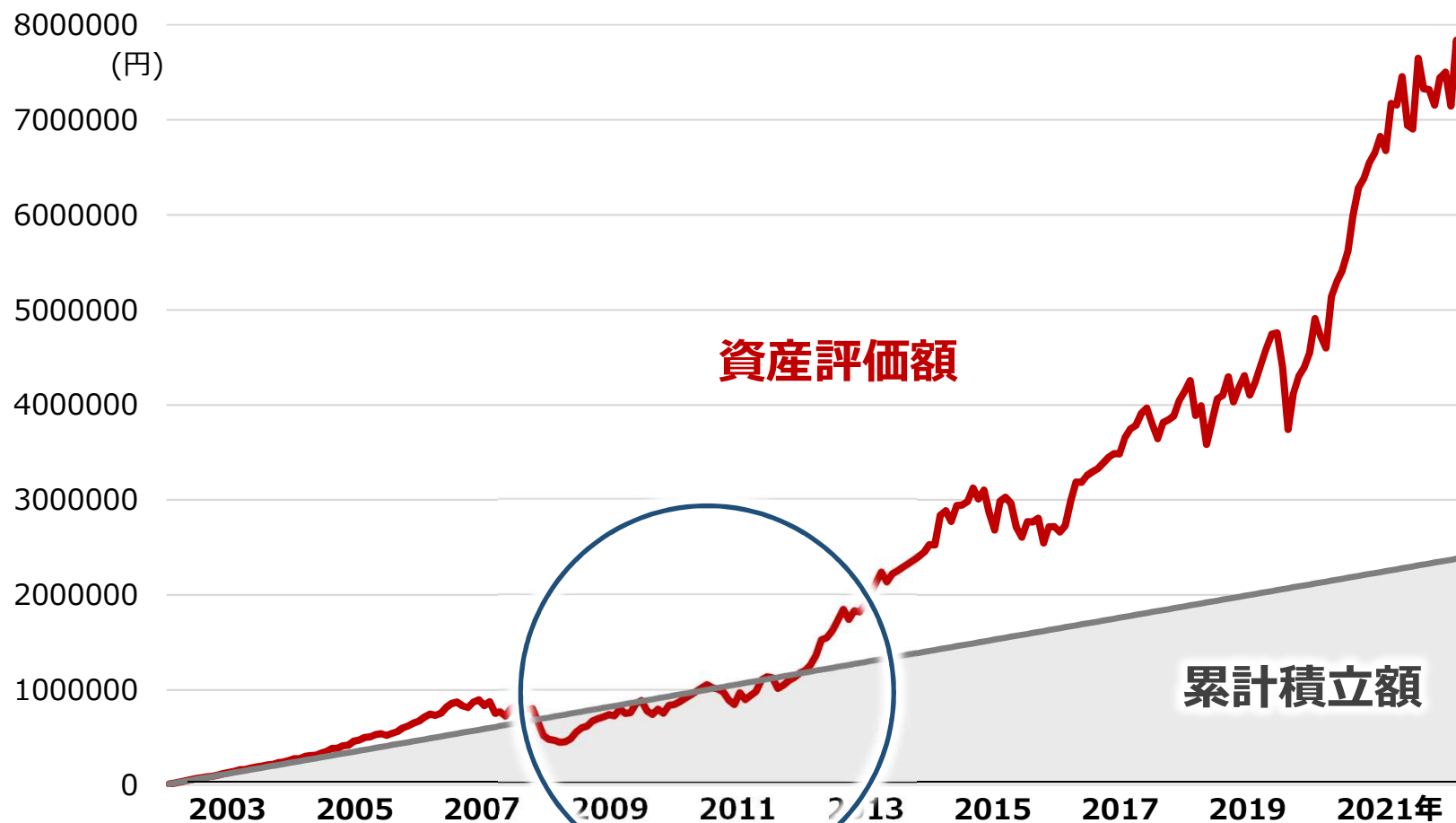
▶ 一定期間、一定の利率で、元本100を複利運用すると…



複利とは「微差は大差」、続けないと意味がない！

再確認／長期積立投資の効果

▶ 20年間、先進国株式インデックスファンドで毎月1万円積立



※2022年11月末時点

検証／リーマンショック時の積立投資

▶ 2008年8月末～2013年7月末



検証／リーマンショック時の積立投資

▶ 2008年8月末～2013年7月末



積立投資／不安なときの処方箋③

- ▶ 投資の大原則は、「安く買って、高く売る」ですが…

	安いとき	高いとき	結果
一括投資	買う 誰でもできる訳ではない	売る	儲かる
積立投資	たくさん 買う 誰でもできる	少なくしか 買わない	儲かりやすく 損をしにくい

積立投資とは、「回復力のある投資」だと心得る！

再確認／長期積立投資のリスク

▶ リーマンショック vs コロナショック

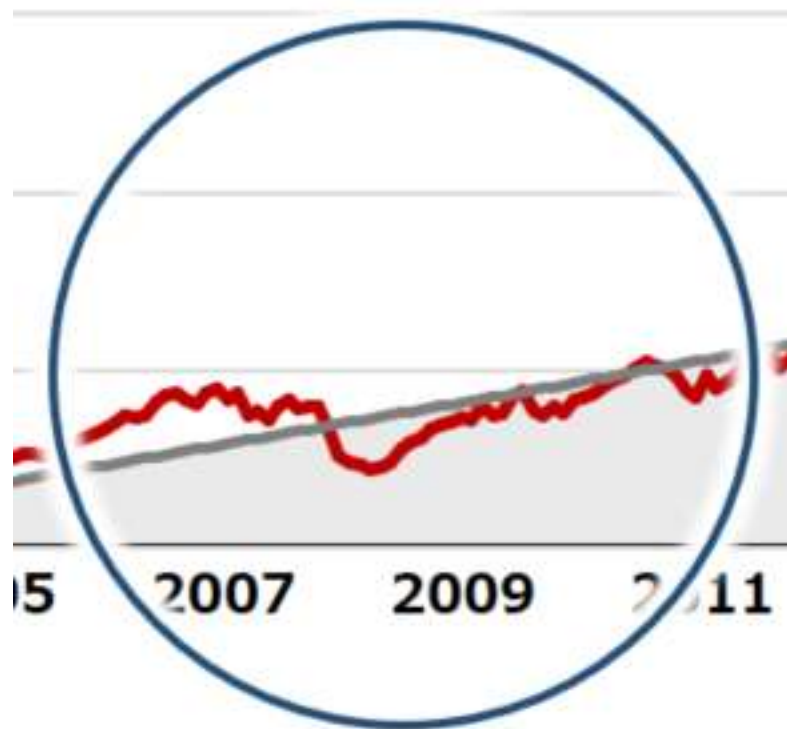


※2022年11月末時点

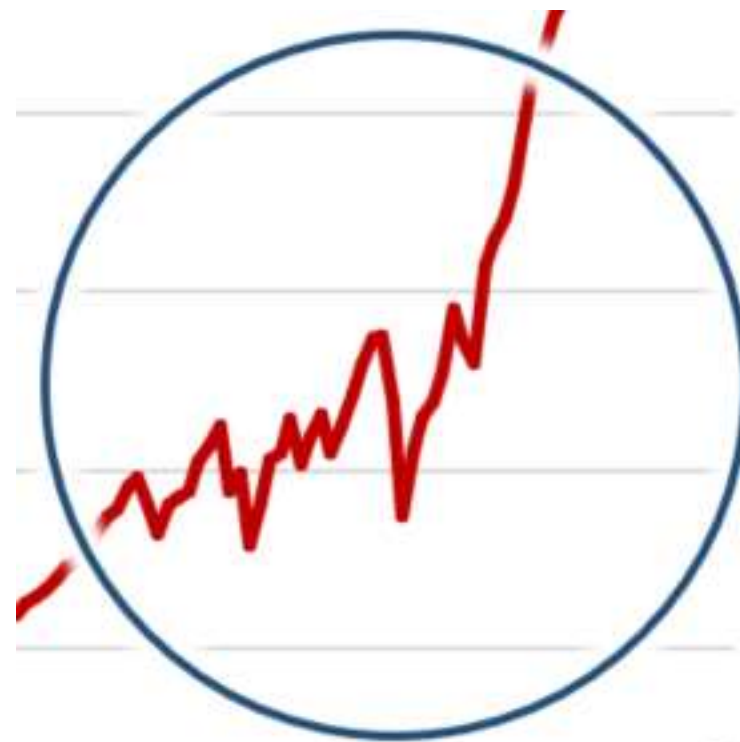
再確認／長期積立投資のリスク

▶ どちらの方が大きく下落していますか？

リーマンショック時



コロナショック時



再確認／長期積立投資のリスク

▶ 長期積立投資の本質的なリスクとは…

	リーマンショック時 (2008/8～2009/2)	コロナショック時 (2020/1～2020/3)
基準価額の 最大下落率	▲50%	▲22%
資産評価額 への影響	▲35万円	▲102万円

資産が積み上がったときに、大きなショックに遭うこと

積立投資／不安なときの処方箋④

▶ 長期積立投資の本質的なリスクに備えるには？

積立投資を早く始める

- 積立開始直後に大きなショックにあっても**大きな損にはならない**
- 積立投資は、**回復力のある投資**

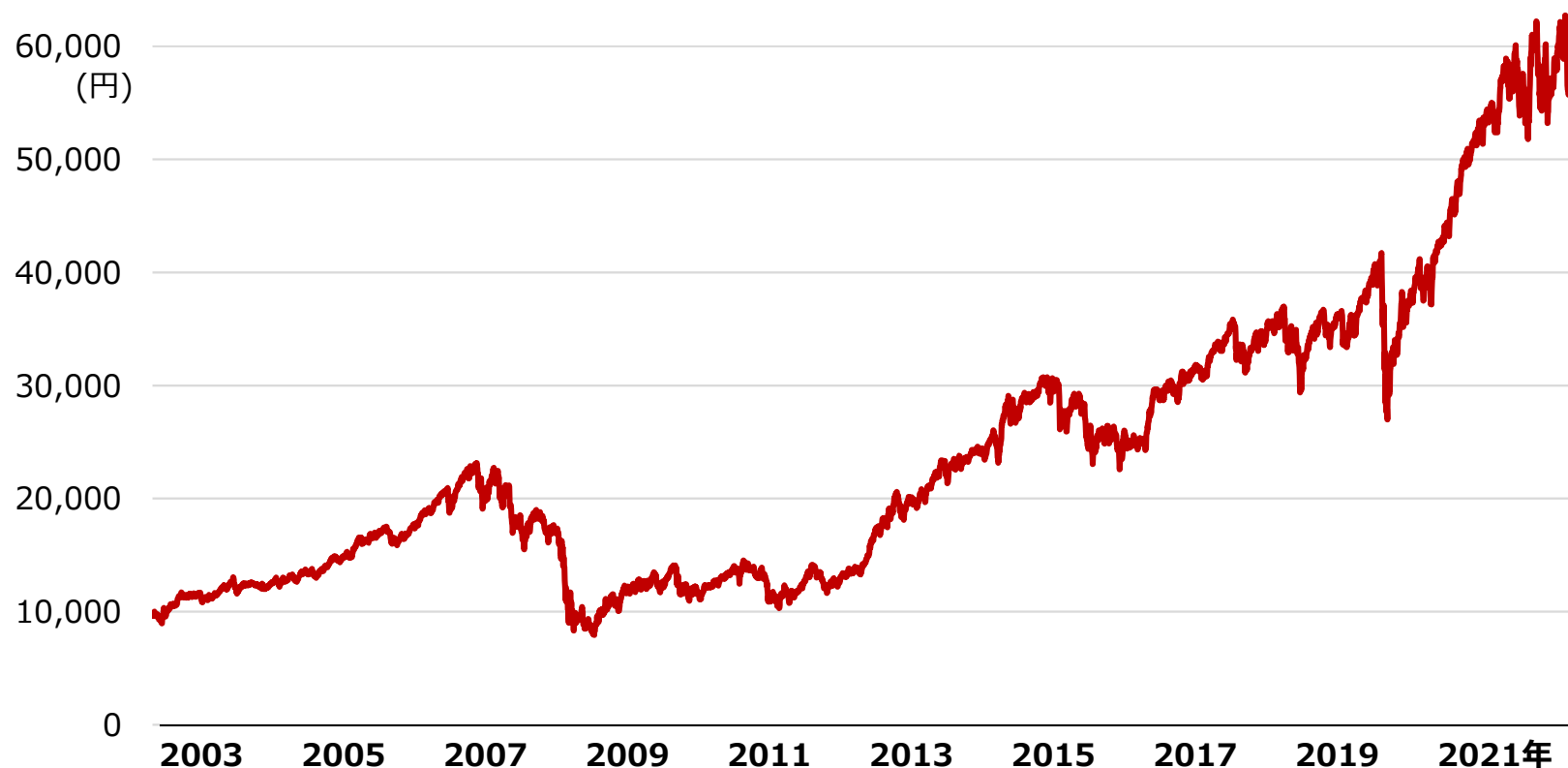
積立投資を長く続ける

- 長く続けることで**複利の効果**を享受し、**長期的なリターン**を獲得する
- 結果、**儲かりやすく損をしにくい資産**を積み上げる

シンプルですが、積立投資を早く始めて、長く続けること

長期的なリターンを獲得するには？

▶ ある先進国株式インデックスファンドの設定来の基準価額



※2022年11月末時点

積立投資／不安なときの処方箋⑤

▶ 過去の歴史は、暴落しても底値をつけ、回復して再上昇する



歴史の教訓は、短期的リスク < 長期的リターン

長期的な楽観が、なぜ、繰り返されるのか？

▶ 世界の経済規模は、今後とも拡大するから



※基準価額／2022年11月末時点(左軸)

※名目GDP／データ出所：IMF WEO、1989年末を100として指数化(右軸)

長期的な楽観が、なぜ、繰り返されるのか？

- ▶ 先進国株式インデックスファンドは、定期的に銘柄を入れ替え、**先進国のオールスター企業に投資を続ける**から

2003/6/30時点			
組入上位10銘柄		地域	割合
1	GE	米国	1.9%
2	ファイザー	米国	1.8%
3	マイクロソフト	米国	1.6%
4	エクソンモービル	米国	1.5%
5	シティグループ	米国	1.4%
6	BP	英国	1.2%
7	ボーダフォン	英国	1.0%
8	ジョンソン&ジョンソン	米国	1.0%
9	ウォルマート	米国	1.0%
10	グラクソスミスクライン	英国	0.9%



2022/5/31時点			
組入上位10銘柄		地域	割合
1	S&P500先物	米国	4.9%
2	アップル	米国	4.5%
3	マイクロソフト	米国	3.6%
4	アマゾン	米国	1.9%
5	アルファベット(A)	米国	1.2%
6	テスラ	米国	1.2%
7	アルファベット(C)	米国	1.2%
8	I-M・ストックス50先物	ドイツ	0.9%
9	ユナイテッドヘルス	米国	0.9%
10	ジョンソン&ジョンソン	米国	0.9%

※出所：先進国株式インデックスファンドの交付目論見書

今日、確認した大事なこと／積立投資の金融リテラシー

1

一括投資と積立投資は**値動きが違う**

2

複利とは「**微差は大差**」、だから続ける

3

積立投資とは**回復力**のある投資

4

積立投資を**早く始めて、長く続ける**

5

歴史の教訓は**短期的リスク < 長期的リターン**

留意事項

手数料等およびリスクについて

- 当社の取扱商品等へのご投資には、商品ごとに所定の手数料等をご負担いただく場合があります（「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由でお取引いただいた際の国内株式委託手数料は約定代金に対して最大1.26500%（税込）、ただし、最低 2,750円（税込）、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された 購入時手数料 および 運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等） また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をお読みください。

商号等 : 大和証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会、
 一般社団法人日本STO協会